

専門課程シラバス

授業科目	母性看護学Ⅱ 周産期にある対象の看護		担当者	藤井弥江・田村知美		実務経験	○(助産師)
開講時期	2学年前期・後期	授業の方法	講義	単位数	2	時間数	45
授業概要	妊娠・分娩産褥期の対象および新生児の正常な経過を促すための援助と、異常に移行しないための予防や、早期発見の方法を学び、いつ脱下場合の援助方法を学ぶ。周産期にある対象や新生児の正常及び異常の経過の紙上事例で看護技術と看護過程の演習を行い、実践に近い学び得る。						
授業計画	<p>1・2 妊婦の看護(ハイリスク妊娠・妊娠期の感染症)</p> <p>3・4 妊婦の看護(妊娠疾患・多胎妊娠)</p> <p>5・6 妊婦の看護(妊娠持続期間の異常・子宮外妊娠)</p> <p>7・8 妊婦の看護(日常生活とセルフケア・出産、育児の準備)</p> <p>9・10 妊婦の看護(妊婦体験・妊婦健康診査)</p> <p>11・12 産婦の看護(分娩Ⅰ期～4期の看護)</p> <p>13・14 産婦の看護(分娩の異常:産道、娩出力、胎児及び附属物)</p> <p>15・16 産婦の看護(分娩時の異常:分娩時の損傷)</p> <p>17・18 産婦の看護(分娩3期、4期の看護・異常出血)</p> <p>19・20 産婦の看護(産科処置と産科手術)</p> <p>21・22 褥婦の看護(退行性変化の異常・進行性変化の異常)</p> <p>23・24 褥婦の看護(産褥期の感染症)</p> <p>25・26 褥婦の看護(退行性変化、進行性変化促進の看護・日常生活とセルフケア)</p> <p>27・28 褥婦の看護(育児技術の指導・家族関係形成への援助)</p> <p>29・30 新生児の看護(出生直後の看護)</p> <p>31・32 新生児の看護(全身の観察・バイタルサイン測定・身体計測)</p> <p>33・34 全身の観察・バイタルサイン測定・身体計測の実際</p> <p>35・36 新生児の看護(沐浴・安全な抱き方、寝かせ方)</p> <p>37・38 沐浴の実際</p> <p>39・40 新生児の看護(低出生体重児の看護)</p> <p>41・42 新生児の看護(高ビリルビン血症児の看護)</p> <p>43・44 事例による看護過程の展開</p> <p>45 事例による看護過程の展開</p> <p>終講試験</p>						
テキスト参考文献	系統看護学講座 母性看護学2 母性看護学各論 第14版 第2版 医学書院 2024						
成績評価の方法	筆記試験(90%)、演習課題(10%)、受講態度等で総合的に評価する。						